
:A thought of a flower.

鳴瀬 凜琥.

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

: A t h o u g h t o f a f l o w e r .

【Nコード】

N 4 9 7 9 B A

【作者名】

鳴瀬 凜琥 .

【あらすじ】

ある日、俺の家の前。小さな花が咲きました、その花は、もう枯れる寸前であつたのです――。

花の出会い。(前書き)

こんにちは、鳴瀬です。

このお話は、私のずっと前に作った歌の歌詞からできた御伽噺です。
枯れる寸前の美しい花が、家の前に咲いていたら。
貴方は、どうしますか？

花の出会い。

花は好きですか？

私、樋口 杏子は、あまり好みません。

何故なら、私と違って ” 華 ” があるからです。

面倒臭い事は嫌い。花を育てるのも、嫌い。

育ててあげてるのに、私をおいて一人で綺麗になって、散って行くから。

私は、大学に行きながら、バイトをしています。
念願の一人暮らしが叶って、絶賛満喫中でした。
そんな、ある日の事。

バイトに行こうと、家のドアを開けました。

「——え？」

ドアが、何かに引っ掛かって開かないのです。
よく見てみると——青白い顔をした、6歳ほどの、小さな女の子でした。

ドアの隙間から外へ出て、それを良く見ると蹲っており、意識がありません。

「大丈夫!？」

女の子は、目を覚ましません。

私は吃驚して、頬を軽く叩きました。

「……ん、う……」

「あ、良かった……!」

女の子は意識が返りましたが、私を見て、目を見開き、
2、3度後退りをしました。

「大丈夫・・・？」

「・・・・・・・・あ・・・・！・・・・！」

「・・・・・・・・私の家、来る？　個々、だから」

女の子は、少し考えた顔をして、小さく頷きました。
その女の子は、髪がボサボサになっていて、服もボロボロでした。

「お風呂、入ろうか？　お湯、大丈夫？」

女の子は頷き、風呂場で服を脱ぎ始めました。
体は傷だらけで顔も青白く、見るからに不健康。

お風呂に入り、少しずつ話を聞けるようになりました。
相変わらず、女の子の声は細く、弱い。

「どこから来たか、わかる？」

「・・・・・・・・わからない、お母さん、お父さんがまた・・・・喧嘩・・・・
して、て・・・・」

「うん・・・・・・・・そっか」

「それで・・・・・・・・お家・・・・出て・・・・・・・・そのまま、道で・・・・・・・・そ
こから記憶が・・・・」

無いんだろう。・・・・寂しいだろうな。

「・・・・・・・・帰りたくない？」

「・・・・・・・・今、は」

「――じゃあ、今日から少しの間・・・私と暮らしてみる?」
「・・・!」

瞬間、女の子の表情に、”華”が見えました。
私は、つい。嬉しくなってしまった。

・・・面倒臭い事は嫌いなはずなのに、な。
ちよつと、負けた気分。

「・・・どうする? 嫌?」

「・・・ん、良い・・・。そ、れが、いい。」

「そつか。良かった!・・・ねえ、貴方の名前は、何?」

「・・・カガリ、花園、かがり」

かがり、か。可愛い。

「私、キヨウコ。樋口、杏子よ」

「・・・キヨウコ、・・・ん・・・」

あれ、言葉が思いつかないのかな?

「・・・かがり、・・・宜しくね?」

「! キヨウコ、宜しく!」

・・・そんなこんなで、カガリとキヨウコと同棲生活が始まったわけです。

花の出会い。（後書き）

・・・文にするのは難しいものです。

歌はスラスラ描けるんですけど・・・。

1話だけで3時間かかりました。（泣）

これからも、ご愛読宜しくお願い致します。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4979ba/>

:A thought of a flower.

2012年1月13日21時55分発行